

学類名	経済学類
-----	------

**学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)**

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

**学類のOP(カリキュラム)編成方針)**

[2016年度の入学者]1年次には、国際基幹教育院での勉学および語学力の向上に集中する。2年次から履修可能な専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2にみるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択をするよう年に2回、アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。なお、経済学を学ぶ上で共通プラットフォームワークとなる科目については、専門基礎科目として選択必修になっており、専門基礎科目から12単位を履修することが卒業要件となっている。3年次から、各自が関心を持つ専門演習に配属され、それぞれの専門分野をより深く探求する。演習では、研究指導を目的とした卒業研究(4年次の履修が可能である。演習での研究活動を通じて、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。また、演習配属後に「経済理論・経済政策コース」「経営・情報コース」「比較社会経済コース」のいずれかに配属されるが、各コースが設定したコース選択必修科目から少なくとも16単位修得することが卒業要件となっている。なお、人材養成目標3および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。

**学類の学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)**

1.幅広い教養を身につける。2.経済学・経営学を学ぶに必要となる基礎的な考え方や分析手法を修得する。3.市場経済のしくみと政府の役割を理解する。4.企業、組織のしくみを学び、経営に必要な知識を得る。5.国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。6.現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。7.さまざまな経済学説や理論を修得する。8.国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決のための政策立案能力を養う。9.将来、社会の一員として働くことの意識を高めるとともに、キャリア形成のための基盤を形成する。10.課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。11.さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う。12.社会人に必要なコミュニケーション能力、IT能力、プレゼンテーション能力、ディベート能力を身につける。

**学類のカリキュラム**

科目番号	授業科目名	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年	単位	◎	○	△	◎	○	△	◎	○	△
10101	学域GS言語I	The Humanities GS Language Course (HGSL) I aims at development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of basic knowledge and skills which the majored academic discipline requires. This course is closely linked with the HGSL II, focusing more on understanding the discipline of the specific academic field than on its practical application.	Students who have completed the course will be able to: 1. acquire basic knowledge of academic subjects in the majored field. 2. build up critical perspectives on the specific academic topics. 3. Respond in English to questions given in the classroom with confidence and fluency.	2	1	◎							◎	◎
10201	学域GS言語II	The Humanities GS Language Course (HGSL) II aims at further development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of more advanced knowledge and skills which the majored academic discipline requires for presentation and essay writing. This course is closely linked with the HGSL I, emphasizing the critical analysis of research subjects of the specific academic area.	Students who have completed the course will be able to: 1. acquire advanced knowledge of academic subjects in the majored field. 2. build up critical perspectives on the specific academic topics. 3. Respond in English to questions given in the classroom with confidence and fluency.	2	1	◎							◎	◎
13103	経済統計学A	経済分析に使われる統計手法の基礎を学習する。	基礎的な統計計算が一通り出来るようになる。	2	2	◎				△			○	○
13201	理論経済学 I A	市場の仕組みを理解する	ミクロ経済学を学習する上で必要となる諸概念を理解することができるようになる。 1. 需要曲線の概念を理解することができるようになる。 2. 供給曲線の概念を理解することができるようになる。	2	2	◎	◎		△	△		○	○	
13202	理論経済学 II A	マクロ経済学を中心として経済学の基礎的な考え方や分析手法を学ぶ。	1. 市場経済の機能と基礎的なマクロ経済理論を体系的に身につけることができる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用し、議論を展開することができる。	2	2	◎	◎		△	○		○	○	
13203	現代経済理論A	資本主義経済の基本的なメカニズムを理論的に理解する。	1. まず専門用語をきちんと理解する。 2. そのうえで、用語を正しく使ってロジックを説明できるようになる。 3. 理論的説明にかんして簡単な数学的表現に慣れる。	2	2	△	○	○		△	◎	◎		
13301	日本経済史A	近代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する。	1. 日本帝国主義を含む戦前日本経済の実相を理解できるようになる。 2. 事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2	◎	○			○	△		△	
13302	西洋経済史A	ヨーロッパ経済史を通して経済学の基礎知識を学ぶ。	近代から現代のヨーロッパ経済の発展過程をたどることによって、 1. 経済学的な分析手法の基礎を習得することができる。 2. 現在のヨーロッパ経済の歴史的基礎を理解することができる。	2	2	◎			○	◎				
13304	アジア経済史A1	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1	○	○			○	◎		△	
13305	アジア経済史A2	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1	○	○			○	◎		△	
13401	経済学史	経済思想の形成過程の検証	近代の成立とセットで成立した経済思想を学ぶことにより、近代の意味について考える。	2	2	○				○	◎			
13402	社会思想史A	現代社会を支える思想の歴史的な形成過程の検証	現代社会が抱える自由、平等、人権、マイノリティ問題等を考えるさいの方法的視野を広げることができる。	2	2	○				◎				
13403	政治経済学	資本主義経済の分析にあたって理論的・歴史的(制度論的)・政策的視野をもつべきことを学ぶ。	時代背景をしっかりと踏まえたうえで、政策的意義や理論的ベースの妥当性を考えることができるようになる。	2	2	○	○			◎	○			
33011	演習			3-4	8								○	◎
33083	卒業研究			4	2								◎	◎
33087	インターンシップ	就業体験を通して経済学、経営学を実践的に学ぶ	1. 通常の学習と就業体験との結合ができる。 2. ビジネスマナー等一般社会常識の習得ができる。 3. 就業観の形成ができる。	3	2	○							○	○
33107	現代経済理論B	20世紀以降の資本主義経済の長期動態に関する異端派マクロ経済理論を理解する。	1. 20世紀以降の資本主義経済の長期動態理論を理解する。 2. 特に「技術進歩」と「金融」の役割を理解する。 3. 資本主義経済の制度的・進化的アプローチとは何かを理解する。	2	2	△	○	○		△	◎	◎		
33109	理論経済学IB	不完全競争と市場の失敗について理解する	1. 市場における企業行動の特徴と問題点を理解することができるようになる。 2. 経済政策の考え方を理解することができるようになる。 3. 様々な経済問題を経済学の観点から理解することができるようになる。	2	2	◎	◎	△		△	◎	○		○
33111	理論経済学 II B	マクロ経済学に関する標準的な考え方や分析手法を体系的に学ぶ。	1. 標準的なマクロ経済理論を体系的に身につけ、それを論理的に説明できる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用できる。	2	2	◎	◎		△	○	◎	○		







33329	財務会計論A	財務諸表の構造的理解	会計情報の外部利用者として、財務諸表の情報内容について構造的に理解できるようになる。	2	2	○	◎	○	◎	△		○	◎		△	
33331	財務会計論B	財務諸表に基づく経営分析	会計情報の外部利用者として、財務諸表に基づく経営分析が実行できるようになる。	2	2	○	◎	○	◎	△		○	◎		△	
33333	情報科学A	情報化社会の進展の概要	情報化社会の進展のために、技術、政策、サービスの全体を理解する。	2	2	◎	○						○	◎	○	
33335	情報科学B	情報(データ)分析の方法論	情報分析のための統計的データ解析に基づいた方法論を学ぶ。	2	2	○	◎						○	◎	◎	
33337	マーケティングA	マーケティングの考え方基礎理論を学ぶ	企業のマーケティング活動について、基本的な理解ができるようになる。	2	2	○	◎	△	◎			○	○	◎	○	
33339	マーケティングB	マーケティングの知識を応用する	研究開発から市場までの一連の企業活動を理解し分析できるようになる。	2	2	○	◎	△	◎			○	○	◎	○	
33341	経営戦略論	企業経営と戦略	企業経営における戦略の役割と経営戦略について理解する。	2	2		○		◎					△		
33501	西洋経済史B	ヨーロッパ経済史を通して経済史の基礎理論を学ぶ。	古代から近代のヨーロッパ経済の発展過程をたどることによって、 1. 経済史から経済学にアプローチする手法を身に付けることができる。 2. 現在のヨーロッパ経済の歴史的基础を理解することができる。	2	2		◎			○	◎					
33505	日本経済史B	現代日本経済に生じた事象の因果関係を理解 する	1. 戦後日本経済の実相を理解できるようになる。 2. 事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2	○	◎			△	◎		△			
33511	社会思想史B	現代社会を支える思想の歴史的成り立ちの検証	現代社会が抱える自由、平等、人権、マイノリティ問題等を考えるさいの方法的視野を広げることができる。	2	2	○					◎					
33513	世界経済論A	20世紀の世界経済の展開	20世紀以降の世界経済の展開と概要を、経済理論、政治経済思想、豊かな国とそうでない国との関係性などを通じて理解する。	2	2	◎	△	△		◎	○	△	◎		○	
33515	世界経済論B	21世紀: 発展途上国経済を巡る世界の動き	1. 発展途上国を中心に世界経済の現状について学ぶ。 2. 公的セクター、企業セクター、市民社会セクターの3つの視点から発展途上国支援策について理解する。 3. 世界経済および発展途上国経済を理解するための統計とその利用方法について学ぶ	2	2	◎	△	△		◎	○	△	◎		○	
33517	国際公共経済論A	国際公共財に関する総論: 歴史と理論	1. 国際政治経済秩序の根幹を成す「国際公共財」につき、①「国際公共財」とは何か、②「国際公共財」の形成・発展過程について理解することができる。 2. 国際政治経済学の代表的理論について理解することができる。	2	2	◎		○		◎	◎	○	◎		○	○
33519	国際公共経済論B	国際公共財に関する各論	国際法、国際機構、対途上国援助など、現代世界における主要な国際公共財について、具体的に理解することができる。	2	2	◎		○		◎	◎	○	◎		○	○
33531	社会言語学A	日常的な日本語から日本社会を見る	日本語と日本社会との関連を見る目を養うことを目標とする。	2	2	○									○	
33533	社会言語学B	対応する場面で使用される日本語と外国語を比較する。	日本語と外国語の発想性の異同を分析できるようになる。	2	2	○				○					○	
33539	国際金融論A	国際金融の基礎構造	国際金融の基本的概念を整理し理解する。	2	2			◎		○						
33541	国際金融論B	国際金融史と現状の検討	現行制度の岩盤にある国際金融システムの変遷を理解し、変容し続ける現在の世界的課題を考察する。	2	2					○	◎					
33545	アジア経済論	アジアの経済発展のダイナミクスを、金融経済、国際経済、開発経済の視点から講義する。	1. アジア地域の経済発展について、貿易・為替・金融・政府の役割を理解することができる。 2. アジア地域における経済統合化について、その特徴や地域内各国経済への影響を理解することができる。	2	2	○	○	◎	○	◎	○	△	◎		△	△
33547	アジア経済史B1	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目指す。	2	1		○			○	◎		△			
33549	アジア経済史B2	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目指す。	2	1					○			○	◎		△
33551	国際経済学1	国際経済学の基礎理論	国際経済の問題を分析するための基本的な理論を理解する。	2	1		○	◎		◎	△	○	◎			
33553	国際経済学1E	The basic theory of International Economics	This class is designed for students to understand the basic theories in international economics.	2	1		○	◎		◎	△	○	◎			◎
33555	国際経済学2	国際経済問題の政策分析	国際経済学の理論の、実際の政策分析への応用を学ぶ	2	1		○	◎		◎	△	○	◎			
33557	国際経済学2E	Policy Analysis in International Economics	This class is designed for students to apply the basic theories in international economics to policy analysis.	2	1		○	◎		◎	△	○	◎			◎

33559	国際貿易論1	国際貿易論基礎	国際貿易のメカニズムを明らかにする理論を理解する	2	1		○	◎		◎	△	○	◎				
33561	国際貿易論1E	The basic theory of International Trade	This class is designed for students to understand the basic theories in international trade	2	1		○	◎		◎	△	○	◎				◎
33563	国際貿易論2	貿易政策の分析	貿易政策の効果を理論に基づいて分析する	2	1		○	◎		◎	△	○	◎				
33565	国際貿易論2E	Analysis of Trade Policy	This class is designed for students to obtain the skills to discuss trade policies based on the standard economic theories.	2	1		○	◎		◎	△	○	◎				◎
33567	国際開発論1	開発を考えると、政治は決定的に重要になる。全ての開発過程は政治過程だからである。本講義では、な開発にまつわる政治問題を考え、その光と影を見たい。それによって、グローバル化する世界で展開される開発に関わる政治の今後の学習の基礎知識を養う。	先ず、途上国の多様な国家・政治・制度を見て開発にまつわる政治のあり方を理解。次に、開発に有効な国家はどのようなものかを理解する。3つ目に、民主的体制下での開発への要請と民主体制下での開発と経済成長、貧困削減、民族、地域、政党、任意団体等の諸社会勢力との関係での諸課題を理解する。最後に、途上国の開発に対する国際機関や先進国の支援の現状について理解する。	2	1	◎		○		○			○				
33569	国際開発論1E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎		○		○			○				
33571	国際開発論2	開発を考えると、政治は決定的に重要になる。全ての開発過程は政治過程だからである。本講義では、な開発にまつわる政治問題を考え、その光と影を見たい。それによって、グローバル化する世界で展開される開発に関わる政治の今後の学習の基礎知識を養う。	先ず、途上国の多様な国家・政治・制度を見て開発にまつわる政治のあり方を理解。次に、開発に有効な国家はどのようなものかを理解する。3つ目に、民主的体制下での開発への要請と民主体制下での開発と経済成長、貧困削減、民族、地域、政党、任意団体等の諸社会勢力との関係での諸課題を理解する。最後に、途上国の開発に対する国際機関や先進国の支援の現状について理解する。	2	1	◎		○		○			○				